

あると通信 ULT

2019.6.12号 / vol. 87 発行 / ULT 図書館司書

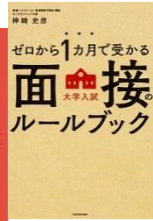
6月 Anniversary 月間、楽しんでますか？
このおとも試験勉強や夏休みの宿題などなど、
ULTをたくさん使ってください。

短縮開館や休館はカレンダーでご確認を！

3年生！！

志望理由書・面接・小論文…
情報収集、足りていますか？！

対策本もあります！



司書がお手伝いします！

静かで涼しいULTで受験勉強！

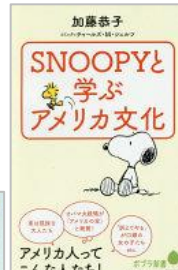
1年生！！

キャリアガイダンスのあとは読書！

2年生！！

修学旅行の準備学習！

6/15 (土) 調べ学習課題が配られます。



職業に関する本を読むのが夏休みの宿題！

ULT CALENDAR

7月

JULY

8月

AUGUST

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
1	2 午前授業	3 期末	4 期末	5 期末	6 期末	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20 終業式	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30	31	

開館時間 9:00 (7/6 は 8:00)
閉館時間 無印...18:00 ○...16:00 △...14:00

浦学フェスタ

新着案内

5月の新着は92点です。
一部抜粋で紹介します。

↓小説いろいろ。

本屋大賞⇒

タイトル	著者	請求記号
青の数学	王城夕紀	913.6-オウ-1
青の数学 2: ユークリッド・エクスプローラー	王城夕紀	913.6-オウ-2
虚構推理	城平京	913.6-シロ
虚構推理短編集: 岩永琴子の出現	城平京	913.6-シロ
そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ	913.6-セオ
新章 神様のカルテ	夏川草介	913.6-ナツ-5
混物語	西尾維新	913.6-ニシ-25



↓「教科書+α」で勉強はもっとたのしくなる!

タイトル	著者	請求記号
公立高校教師YouTuberが書いた 一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書	山崎圭一	209-ヤマ
敗者の日本史 1~20	関幸彦ほか	210.1-セキ
大人のための国語ゼミ 増補版	野矢茂樹	816-ノヤ
ネイティブが教えるほんとうの英語の助動詞の使い方	デイビッド・セイン	835.5-Th



↓「なぜ勉強するの? どうやればいいの?」そんな疑問にも本が答えをくれるかも。

タイトル	著者	請求記号
学びを結果に変えるアウトプット大全	樺沢紫苑	002.7-カハ
続・中学生からの大学講義: 学ぶということ (ちくまプリマー新書)	内田樹ほか	002-チユ-6
読書する人だけがたどり着ける場所 (SB新書)	齋藤孝	019.1-サイ



第 87 回は笹木が担当です。テーマは「みんなで語り

コラム de リレー。

合いたい本」。「語り合う」というよりは「わいわいしゃべる」という感じですが、『死ぬ前に味わいたい 1001 食品』という本は、誰かと一緒に読むと楽しい本です。



色々な国のフードライターが協力して世界中の食材を写真付きで解説した本で、イギリスで刊行されたもの。約 1000 ページという分厚さで、例えばチーズだけで 80 ページあります。「オロモウツケー・トヴァルシュキ」「タルトウース・シャンクリッシュ」なんてチーズ、日本にいたら一生口にしない(食べないし発声もしない)で終わりそう! お肉のページも興味深く、ライチョウ科の鳥(ちょっと血が…)を両手に持って微笑むイヌイットの少女の写真にドキッとしたり、へ〜! 48 種のオーストラリア・カンガルーのうち食用に捕獲されるのは 5 種だって、などと言っているうちにあっという間に時間が過ぎると思います。写真の美しさと味のある解説文にはまっています。

日本人になじみ深い食材も取り上げられていて、その説明がまたおもしろい。絹ごし豆腐は、「小さなサイコロ状に切って、澄まし汁に入れて静かに煮られたりする」とか、情景が浮かんでそこはかとおかしい。マツタケの説明では、「秋の 2 週間か 3 週間の短い期間に、日本の商店はマツタケに熱狂する。(…)店の売り子は、松茸ご飯や弁当の美味しさを宣伝して叫ぶ」と。いや、そういう店もあるかもしれないけど(笑)! タコの説明では、「例外的というか、日本人は 8 本の足と奇妙な外見に嫌悪感を抱かず、むしろかわいらしいと感じるのである。それでもやっぱり食べてしまう——時には生きたまま食べることもある」とあり、日本人の特殊性と食意地を強調されていたり。

世界は広いということ、自分にとっての当たり前は人にとっては当たり前じゃないことなど、本は多くのことを教えてくれますね。高橋さんへの次回のお題は「異文化」にします。